



2022年1月8日(土)

# 進化型実務家教員養成プログラム 説明・相談会

進化型実務家教員養成プログラム



Training for Emerging Educators and Practitioners

名古屋市立大学大学院経済学研究科

教授 鵜飼宏成

(TEEPコンソーシアム実施委員会委員長)

名古屋市立大学・岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学

## 本日(10時～11時)の進行計画

1

- 進化型実務家教員養成プログラムの全体像

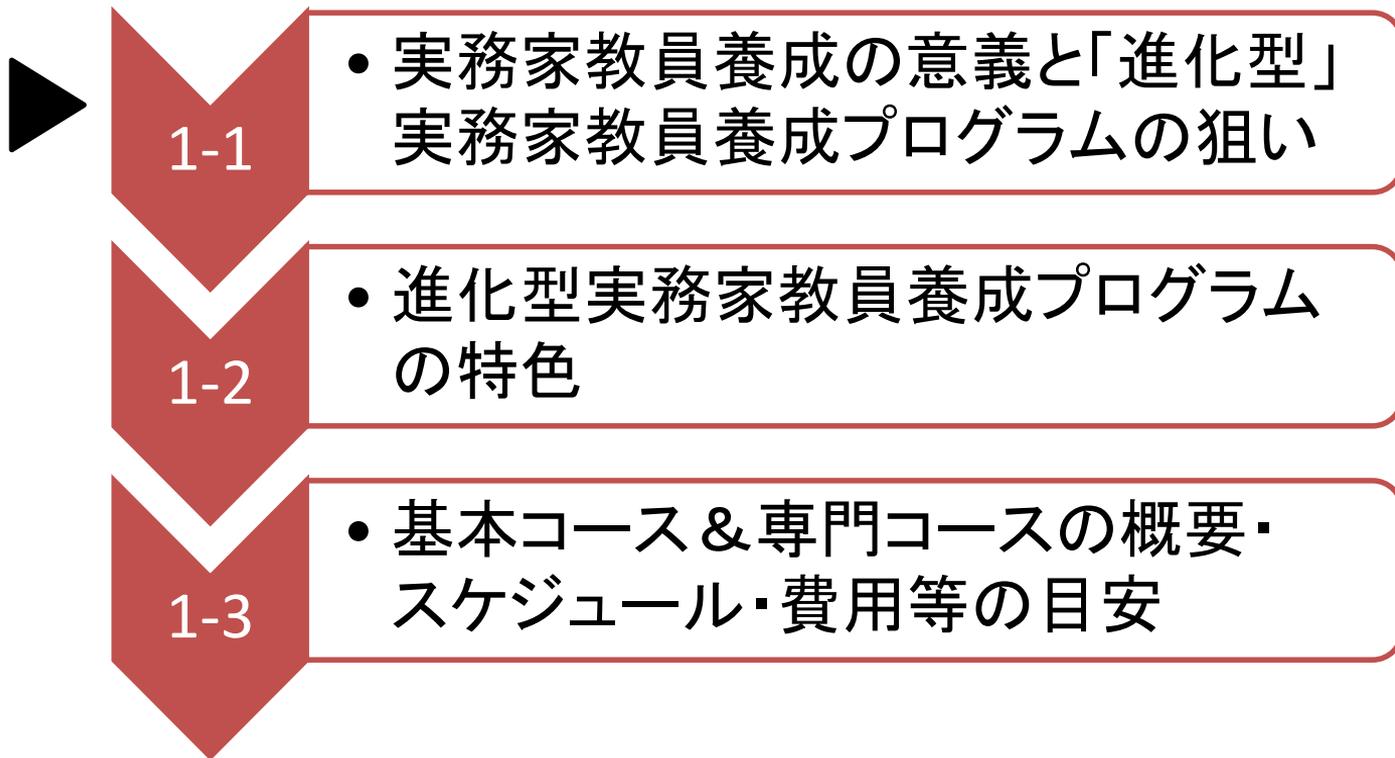
2

- 基本コース概要とスケジュール目安

3

- 質疑応答・相談等

# 1. 進化型実務家教員養成プログラムの全体像

- 
- 1-1 • 実務家教員養成の意義と「進化型」実務家教員養成プログラムの狙い
  - 1-2 • 進化型実務家教員養成プログラムの特色
  - 1-3 • 基本コース&専門コースの概要・スケジュール・費用等の目安



1st:

大学における実践的な学びの場の創出と人材開発

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」

# 進化型実務家教員養成プログラム

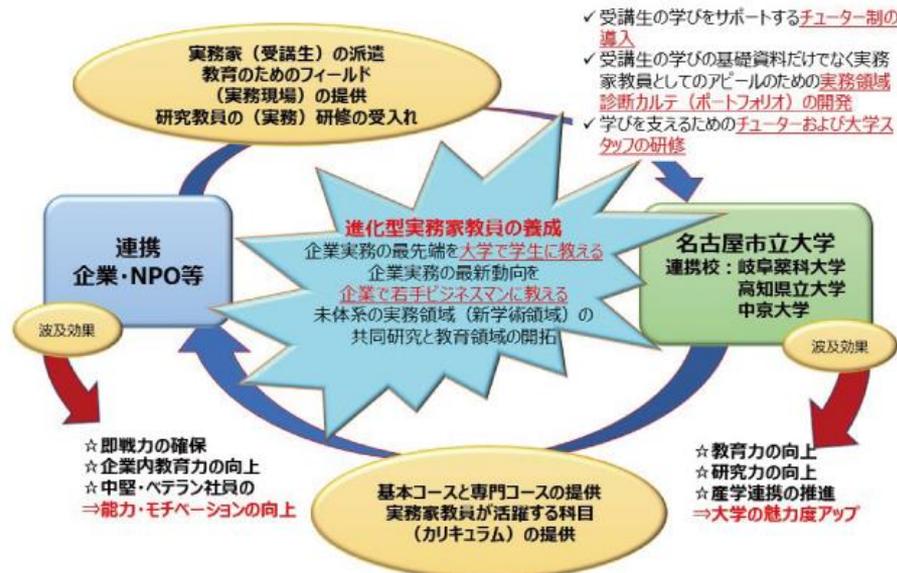
2nd:

実務家教員の養成は、その取り組みの一つ！

名古屋市立大学が申請した、PBL (Project-Based Learning: 課題解決型学習) と IPE (Interprofessional Education: 多職種連携教育) を重視して実務家教員の養成に取り組む「進化型実務家教員養成プログラム」が採択されました(全国での採択件数4校)。

このプログラムでは、岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学および連携企業(株式会社愛知銀行、株式会社スノーム)との協力関係のもと、企業実務等の最先端を大学で学生にわかりやすく教えることができる人材、経営実務・減災医療などの分野で実務の最新動向・技術などを職種・組織横断的に指導できるリーダーシップを備えた高度専門人材を養成します。

- 取組名称** PBLと多職種連携を活用した進化型実務家教員養成プログラム (TEEP: Training for Emerging Educators and Practitioners) 構築事業
- 事業期間** 令和元年度から令和5年度まで5年間
- 目的**
  - ・Society5.0の到来と高度化する企業実務に呼応した学びを教育現場で実践する実務家教員の養成
  - ・実務家の「教育力」の向上と「新領域(新学術領域)での解決力」の涵養
  - ・地域のステークホルダーとの連携を通じた「共育」環境の整備
- 特徴**
  - ・各大学の強みを活かした専門コース(経営実務、減災医療、心理カウンセリング、スポーツ実務)を開講
  - ・受講生の学びをサポートするチューター制の導入
  - ・実務領域診断カルテ(ポートフォリオ)の開発
  - ・授業は、E-ラーニングを中心に、その他、昼間、土日祝日、夜間に実施
- 開始時期** 令和2年1月試験実施開始・モニター受講生募集(受講料無料)



進化型実務家教員養成プログラム



名市大TEEPコンソーシアム

名古屋市立大学 岐阜薬科大学 高知県立大学 中京大学



## 実務家教員とは？ 「進化型」実務家教員とは？

### 用語の説明:

#### 【実務家教員】

おおむね5年以上の実務の経験と高度の実務能力を有する大学等の教員。

#### 【進化型実務家教員】

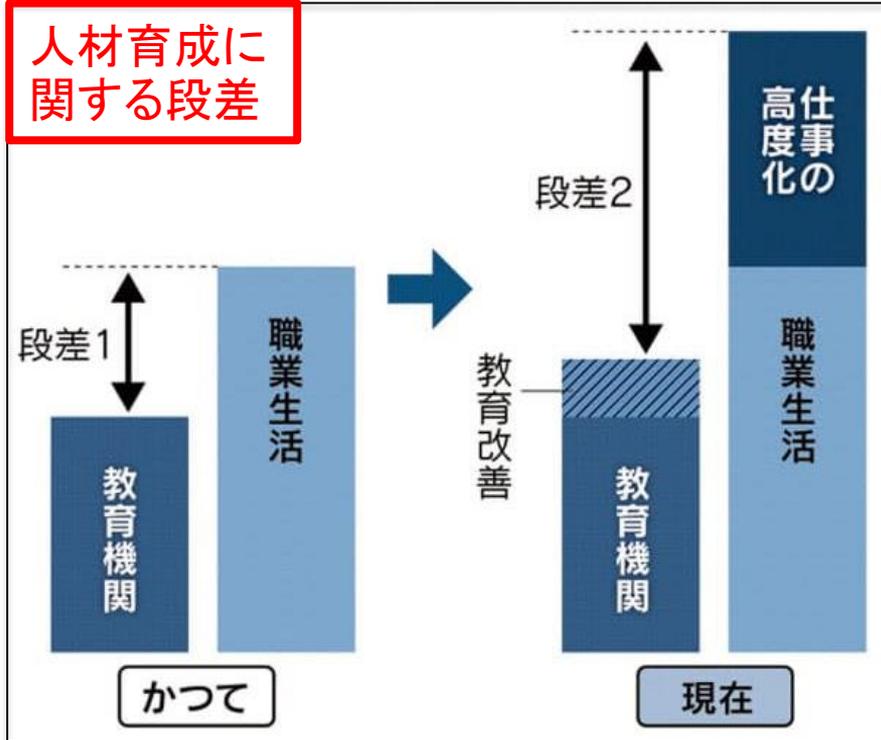
上記実務家教員の規定に加え、実務家として「一仕事以上を成した」うえで、大学の職に転じた教員。

- 基礎理論の応用経験あり
- 組織を動かす経験(組織内マネジメント経験)や全社的な視点にたった仕事の経験あり

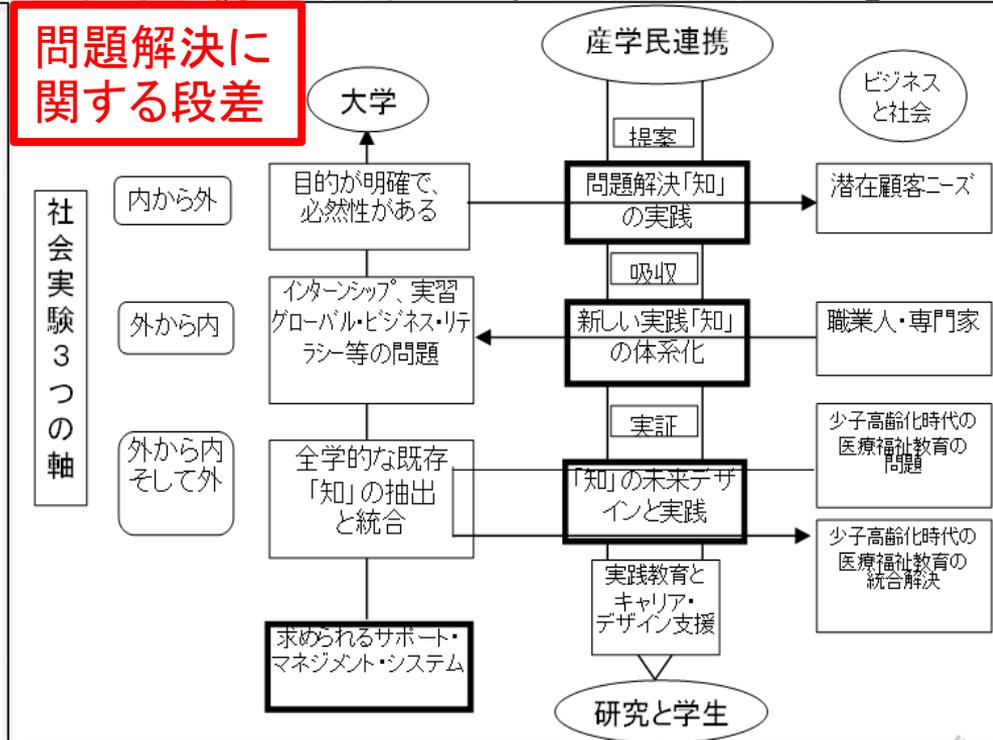


## 2種類の「段差」を意識すべき！

### 教育機関と仕事世界の間の「段差」



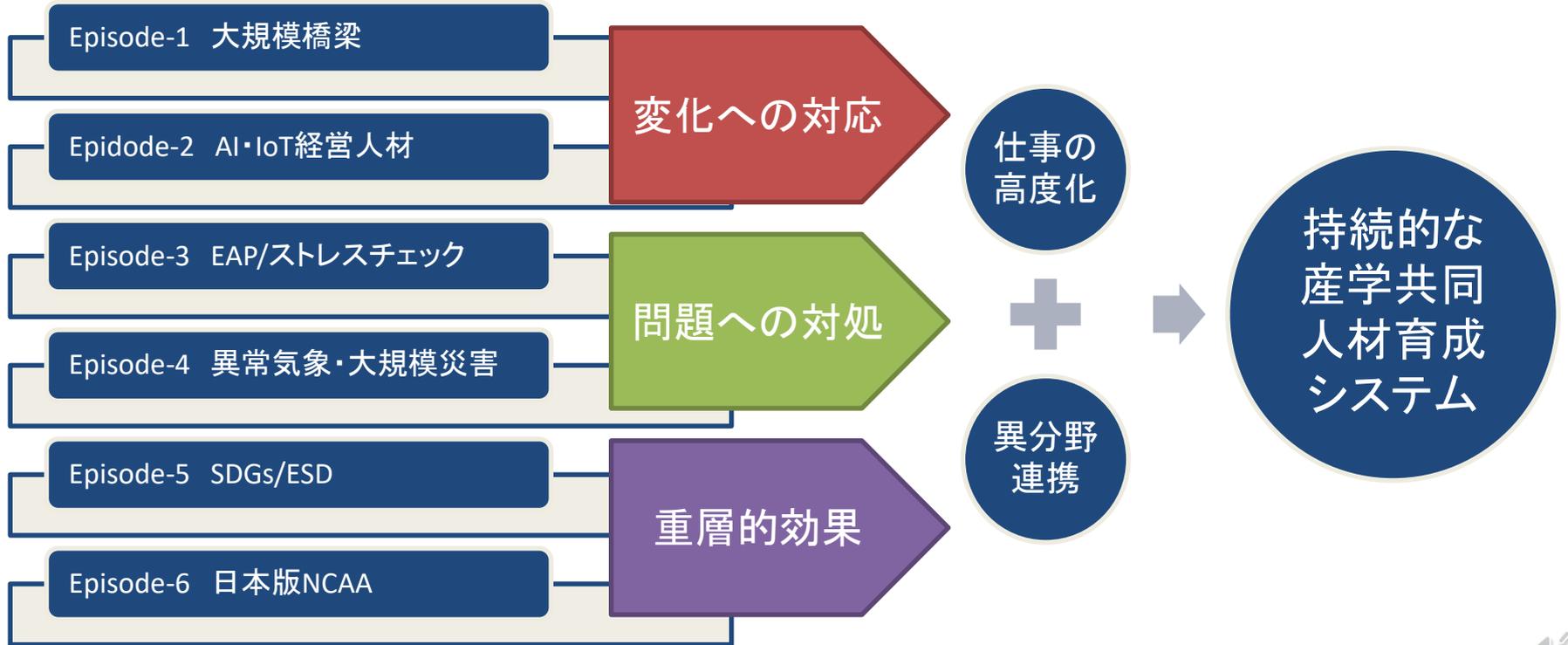
### 産学連携に向け我々が置かれている「段差」



出所：2019年9月23日付日本経済新聞  
「大学教育と職業生活 広がる「段差」実践で是正」

作成：鵜飼宏成(2004年11月7日)

# 進化型実務家教員が求められる背景



段差は状況に応じて質が変化するのが常！

段差①  
人材育成

● 探究

段差②  
問題解決

● 創造的  
解決

なぜ、進化型実務家教員養成が求められる？

段差の特性を理解し、解決のための方法を生み出し、ステークホルダーとともに「人材育成」と「問題解決」を実践できる人材の重要性。

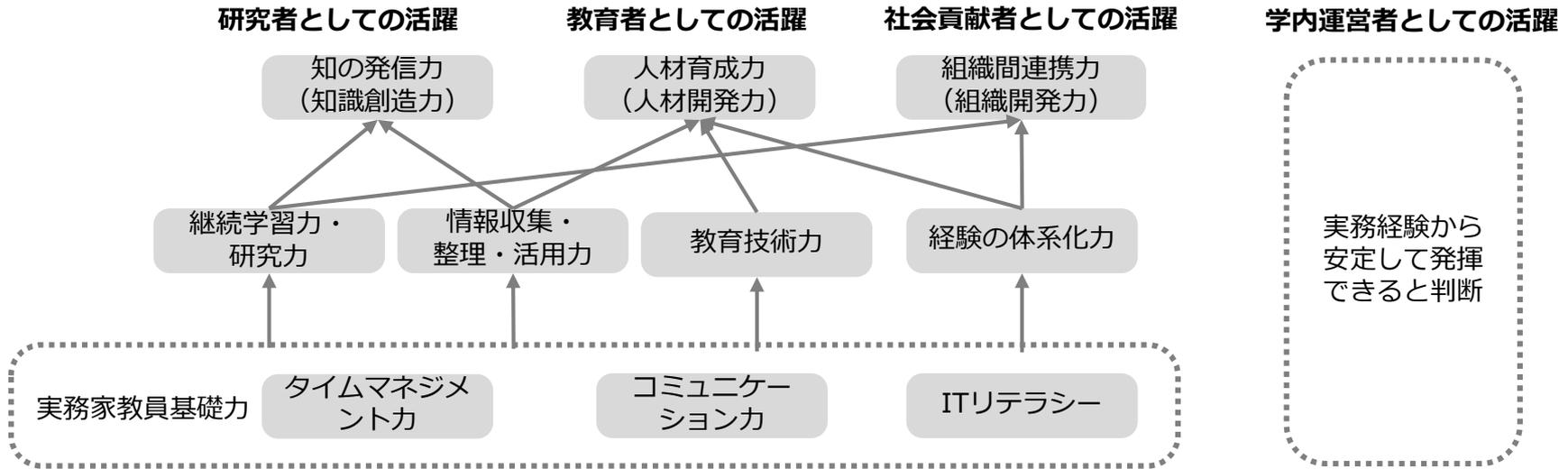
実務家教員には、経験を伝えること《プラスα》が求められる。



# 「安定して発揮できる能力」を構造化する

- 大学教員の4つの使命と「安定して発揮できる能力」を関連づけして構造化する

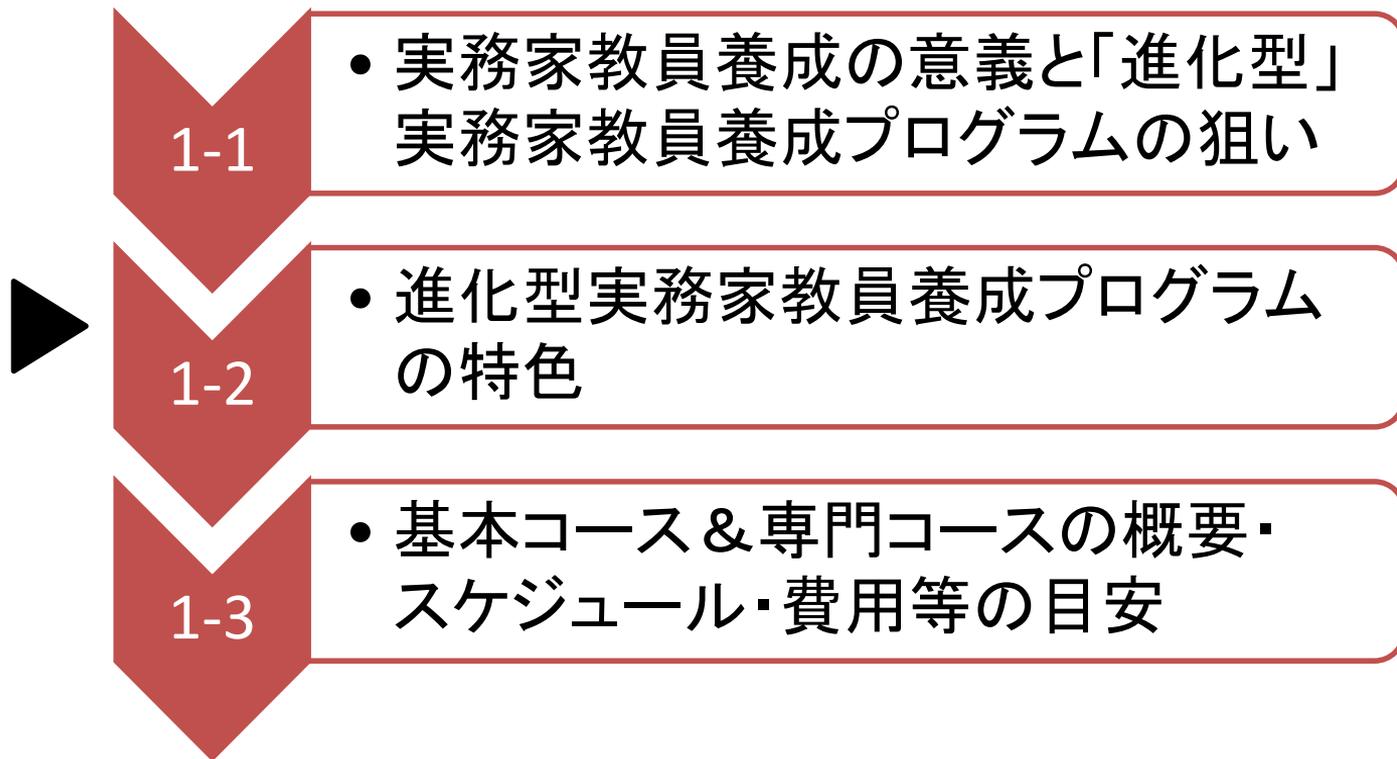
## 進化型実務家教員の4つの活躍領域



出典:名古屋市立大学「進化型実務家教員養成プログラム」ワークショップ 実務領域診断カルテ開発の中間報告Joyworks資料(2020年10月21日)



# 1. 進化型実務家教員養成プログラムの全体像



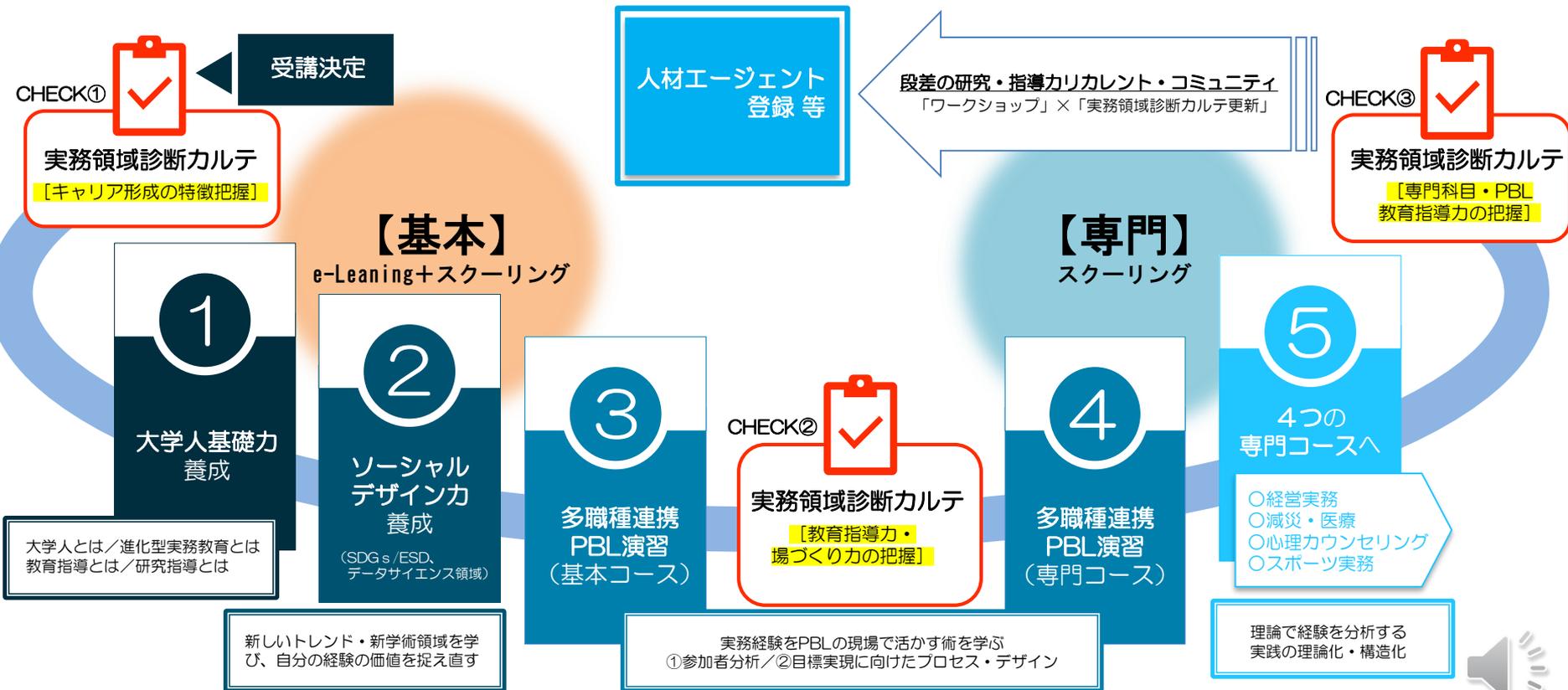
# 「進化型実務家教員養成プログラム」の構造

## 【2段階の履修証明プログラム】

基本コース (新設：Eラーニング + スクーリング)	⇒	専門コース (4コース) (既設置科目活用型スクーリング)
(狙い) <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導力の修得 (大学教育概論、教育方法、研究方法、ソーシャルデザイン能力を含む)</li> <li>・産学官民協同で社会課題克服のプロジェクトを創出し、教育の場づくり (多職種連携 PBL 演習として実践)</li> </ul> (参考) 基本コース担当：名古屋市立大学 (高等教育院、人間文化・経済学・理学等の研究科)		(狙い) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各コース指定科目内より、実務家教員希望者のストロングポイントを伸ばし、ウィークポイントを克服する科目履修と選択</li> </ul> (参考) 経営実務 減災・医療 心理カウンセリング スポーツ実務
60 時間以上の講義+10~20 時間実習		4 科目 8 単位相当の履修
職能力診断カルテの事前、事後チェック (職務・教育力・専門分野のポートフォリオ)		



# 進化型実務家教員養成プログラム 学修プロセス



# 実務領域診断カルテ(ポートフォリオ)の開発/応用

## 実務領域診断カルテ(ポートフォリオ)の開発と発信

	実務領域診断カルテ項目	ポイント
1	実務家の実務領域の診断	知的熟練の幅と深さ(仕事表等を応用)
2	専門学術分野マップ	専門領域・学際領域マップと強み・弱み
3	多職種連携領域と能力	リーダーシップ、チームング等
4	不足・克服領域の能力開発計画(道程)	能力開発領域・カリキュラムマップ
5	教育基礎知識の評価と講評	教育基礎力の評価
6	教育実習・PBL演習評価と講評	経験学習指導力の評価

知的熟練:変化と問題への対応を可能とする仕事能力  
(仕事経験調査より構造化)

実務家の専門性を研究領域/講義科目のマップ化。特長と強化領域を明確化。

新領域での問題発見・課題設定・克服策実行を多様なステークホルダーと推進できる能力

実務家教員としてのコンピテンシーを高めるための1~3を踏まえた能力開発計画

基本コース・専門コースで履修した科目毎の評価と講評。毎年、TEEP主催の多職種連携PBL演習や社会課題克服プロジェクトに参加することで、実践的教育力をアップデート:継続的記録

実務家教員養成の基礎資料であるとともに、  
研修修了生のアピール



## 実務領域診断カルテ：実務を通じて体得した専門力（一部例）

知識			経験		
執筆の実績	論文	<p>「知識」に関しては 履歴として記入</p>	主な業務履歴		
	書籍		業務における 顕著な成果		
	レポート		成果に対する自 分の役割と貢献		
加入している学会名			置かれていた 環境と課題認識		
学会での口頭発表			堅調な成果の 社会的な意義		
非常勤講師の実績			成果創出で 苦労したこと	<p>「経験」の「主な業務履歴」 は履歴として記入し、それ以 外は面談で質問する</p>	
講演・研修講師の実績			活用したモデル や理論または振 り返ってわかっ たモデルや理論		
対応できる科目名					



# 1. 進化型実務家教員養成プログラムの全体像

1-1

- 実務家教員養成の意義と「進化型」実務家教員養成プログラムの狙い

1-2

- 進化型実務家教員養成プログラムの特色

1-3

- 基本コース&専門コースの概要・スケジュール・費用等の目安



# 「進化型実務家教員養成プログラム」の受講料及び定数

- ・基本コース…名古屋市立大学大学院人間文化研究科「都市課題プロジェクト研究」に位置づけ  
2021年度10名、2022年10名、2023年度20名

入学検定料: 9,800円

受講料: 142,600円(名古屋市住民等以外の場合は152,600円)

※入学料、学生教育研究災害傷害保険料、科目等履修生としての授業料および  
TEEP指定プログラムの受講料を含みます。

※別途、PBL演習の旅費がかかる場合があります。

- ・専門コース…名古屋市立大学「経営実務コース」、「減災・医療コース」  
中京大学「心理カウンセリングコース」、「スポーツ実務コース」の4コース設置  
各コース 各年度 定員5名

入学検定料: 10,000円程度

受講料: 130,000円～160,000円程度(4科目以上履修する場合は取得単位ごとに加算)

※名古屋市立大学では、大学院科目の科目等履修制度を活用⇒後の大学院進学にもメリット



## 2022年度《基本コース》の概要・スケジュール・費用等

項目	内容
受講スケジュール	◇受講期間 2022年4月～9月 ◇修了日 2022年9月下旬
履修証明	名古屋市立大学の規程に基づき、「履修証明書」を発行
応募期間	2022年1月6日～1月19日
応募書類	科目等履修生出願要項に基づき、①入学願書、②最終学歴を証明する書類、③住民票等を提出
申請方法	持参又は郵送
申請・連絡窓口	山の畑事務室(滝子キャンパス) 人間文化研究科
選考方法	書類審査 及び 面接審査 2022年1月20日～2月24日



## 2022年度《基本コース》の概要・スケジュール・費用等

項目	内容
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>①企業、医療機関その他での実務経験が合計で5年以上の者</li> <li>②起業経験がある者</li> <li>③スポーツ競技等で一定以上の実績を有する者で、TEEP運営委員が適切と認める者</li> <li>④その他、TEEP運営委員会が適切と認める者</li> </ul>
定員	10名
入学金・受講料等	142,600円(名古屋市住民等以外の場合は152,600円)
在籍期間	1年以内
修了要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>①開講期間内にPBL実践演習を除く63時間の全課程を修了し、合格すること</li> <li>②PBL演習に参加した学生によるアンケートの総合評価の平均が5段階中3以上</li> <li>③大学教育実践演習における指導教員の総合評価の平均が5段階中3以上</li> </ul>



## 2022年度《専門コース》の概要・スケジュール・費用等（名市大関係）

項目	経営実務コース
受講スケジュール	<p>◇受講期間 2022年10月～2023年3月</p> <p>◇修了日 2023年3月下旬(修了しない場合継続受講可)</p>
履修証明	名古屋市立大学の規程に基づき、「履修証明書」を発行
応募期間	2022年6月9日～6月22日
応募書類	科目等履修生出願要項に基づき、①入学願書、②最終学歴を証明する書類、③住民票等を提出
申請方法	持参又は郵送
申請・連絡窓口	山の畑事務室(滝子キャンパス) 経済学研究科
選考方法	書類審査 及び 面接審査 2022年6月～7月

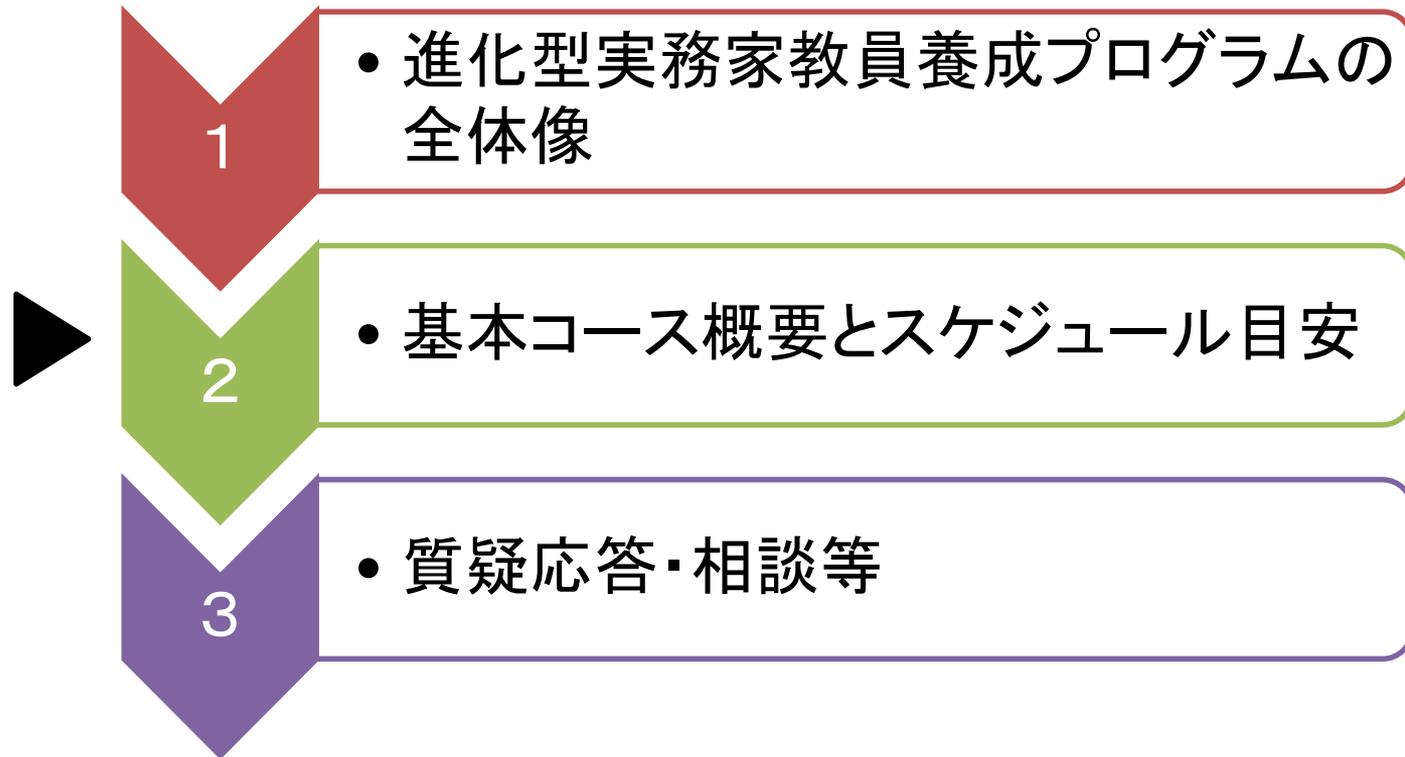


## 2022年度《専門コース》の計画中の概要・スケジュール・費用等（名市大関係）

項目	経営実務コース
応募資格	①「基本コース」を修了した者、既に「基本コース」と同等の科目を別途に履修したことをTEEP運営委員会が認定した者 ②加えて、 <b>起業やマネージャー経験者等で、TEEP運営委員会が適切と認める者</b>
定員	5名
入学金・受講料等	科目等履修生制度に準じた金額 計 4科目相当 142,600円 （名古屋市住民等以外の場合は152,600円）
在籍期間	<b>1年以内</b>
修了要件	①開講期間内に選択必修Ⅰおよび選択必修Ⅱの科目より <b>4科目以上を修了し、合格すること</b> ② <b>ポートフォリオを用いた学修成果の評価で教育専門能力が備わったと判定されること</b>



## 本日(10時～11時)の進行計画



2021年度TEEP基本コースのスケジュール概要

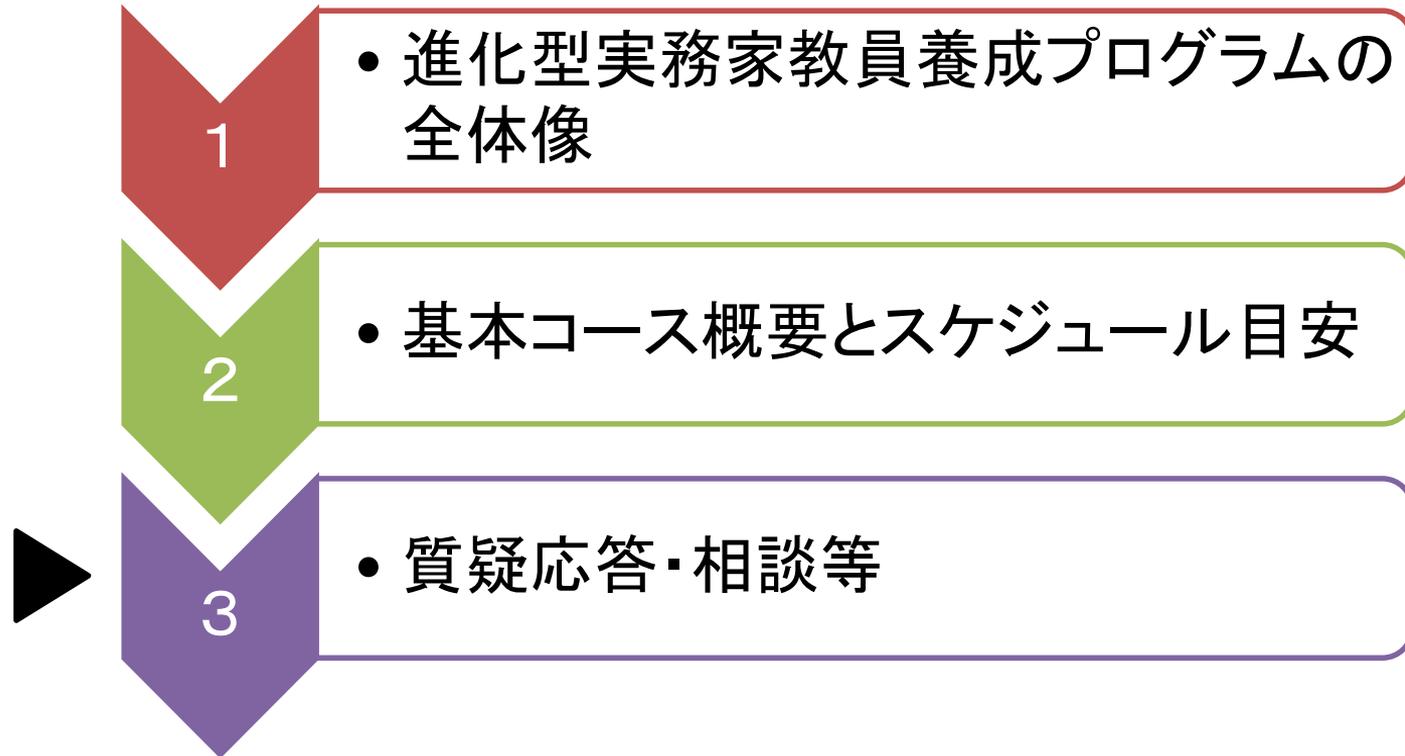
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
都市課題 プロジェクト研究 大学院人間文化研究科 都市政策コース科目 (○内数字はシラバスの 授業回数) 未校授業 ZOOM対応可能		①4/12(月) 18:00～19:30 (1号館301) ガイダンス	②5/6(木) 19:40～21:10 (1号館420) ③5/13(水) 19:40～21:10 グループA/B ④5/20(木) 19:40～21:10 (1号館420) 研究指導論	⑤「令和の大学入門」 ⑥「アクティブラーニングの 基礎」 ⑦6/17(木) 19:40～21:10 大学教育実践演習 *⑤⑥は4月の「令和の大学入門」 「アクティブラーニングの基礎」動画 視聴にて代替	⑧～⑪7/1(木)・8(木)・ 15(木)・22(木) 19:40～21:10 グループ A/B ⑫7/27(水) 18:00～21:10 ソーシャルデザイン・プレ ゼンテーション	⑬8/5(木) 19:40～21:10 グループA/B 大学教育実践演習	⑭9/3(金)最終レポート提出 ⑮9/17(金)18:00～19:30 全体講評
事前学習	動画視聴	4/13(火)～4/25(日) 「大学教育と進化した実務家教員」「教育・研究倫理」「研究方法論」「令和の大学入門」「アクティブラーニングの基礎」の10回分 4/13(火)～4/23(金) 学派の研究倫理e-ラーニング受講(4/23までに修了証提出)	24/26(月)～5/31(月) 「持続可能な社会構築論」の10回分	担当教員は6/2・9菅我、6/16三浦、6/23・30渡邊			
	スクーリング			6/2(水)・9(水) 19:40-21:10 6/16(水) 18:00-19:30 6/23(水)・30(水) 18:00-19:30 (1号館420) 「持続可能な社会構築論」	07月 多職種連携PBL演習 ・事前研修(3回) 日程未定(平日18時以降で調整) ・実習 上記参照 ・事後研修(2回) 日程未定(平日18時以降で調整)		
チュートリアル/ 実務領域診断カルテ		4/13(火)～4/30(金) 実務領域診断カルテフィードバック(個別に時間を設定) ⇒4/17(土)、4/24(土)実施 4/17(土)～4/21(水) テーマ別担当教員決定に向けた チューターとの相談 ・研究指導論 ・大学教育実践演習 ・多職種連携PBL演習 ⇒グループ分け決定	第2回実務領域診断カルテ フィードバック ⇒5/22(土)、5/29(土)実施			第3回実務領域診断カルテ フィードバック ⇒8/21(土)、8/28(土)実施	第4回実務領域診断カルテ フィードバック ⇒9/25(土)、10/2(土)実施 実務領域診断カルテ更新
			5/27(木) 読書会 第1部 19:40-21:10	6/24(木) 読書会 第2部 19:40-21:10 ・専門コース選択科目相談	7/22(木) 読書会 第3部 19:40-21:10		

\*PBL演習の実習は鞆綱クラスと三浦クラスのどちらかを選択して受講。  
鞆綱クラス 7/10(土)10:40～17:50、7/24(土)13:00～17:50、  
8/7(土)13:00～17:50、8/8(日)9:00～17:50  
三浦クラス 8月～9月の平日2日間(昼間)で実施予定

07月  
多職種連携PBL演習  
・事前研修(3回) 日程未定(平日18時以降で調整)  
・実習 上記参照  
・事後研修(2回) 日程未定(平日18時以降で調整)

チューターへの相談(随時)

## 本日(10時～11時)の進行計画



本日の相談会は、グループに分かれた「公開」質疑応答

「養成プログラム内容に関する質問(A)」と「応募手続きに関する質問(B)」に分かれ、(Zoomブレイクアウトルーム機能を使って)公開質疑応答を行います。

①質問のある方は、次のルールに従い、「ログイン名」を変更してください。

- 「養成プログラム内容に関する質問(A)」 ⇒ A 氏名
- 「応募手続きに関する質問(B)」 ⇒ B 氏名
- 双方の質問がある方で「内容(A)」を優先 ⇒ AB 氏名
- 双方の質問がある方で「手続き(B)」を優先 ⇒ BA 氏名

②次に、グループチャット機能を使い、質問内容を教えてください。

(例) 質問(A) ⇒ A ○○○○      質問(B) ⇒ B ●●●●

③個別の相談会を1月12日(水)18時～で用意いたします。お一人10分でオンライン相談の時間を準備させていただきます。ご希望の方は、TEEPホームページの申込フォームを使いご予約下さい。折り返し、予定時刻とログイン情報をお伝えします。

## 1月12日(水)個別相談会申込フォームへのリンク

---



<https://req.qubo.jp/teep-consortium/form/VGWph8pE>